

「上部尿路感染症後のDMSAシンチ施行症例の検討」 について

加古川中央市民病院小児科では、現在、上部尿路感染症に罹患し入院された患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

上部尿路感染症（急性腎盂腎炎、急性巣状細菌性腎炎、腎膿瘍）の病気にかかった後に腎瘢痕という傷を形成することがあります。この腎臓の傷（以下：腎瘢痕）は感染を繰り返すとさらに増えて腎臓の機能が悪くなるため、尿路感染症において腎瘢痕形成を予防することは重要となります。上部尿路感染症後の腎瘢痕形成のリスク因子としてはこれまで、膀胱尿管逆流（VUR）、反復性の尿路感染、有熱期間などが報告されています。

当院では、腎臓機能を確認するため、DMSA シンチを行っています。DMSA シンチの適応としては繰り返す尿路感染や非典型的な経過の尿路感染症の患者さんなどとなっていますが、統一された適応基準は現時点ではありません。

当院では、反復性の尿路感染、急性巣状細菌性腎炎を含む非典型的症例、SFU 分類で grade2 以上（腎盂の拡張と一部腎杯拡張している）の水腎症を呈する急性腎盂腎炎症例に対して、尿路感染症後、6 か月を目安に腎瘢痕形成評価目的で DMSA シンチを施行しています。

今回、DMSA シンチを施行した患者さんを腎瘢痕形成グループと非形成グループに分けて、瘢痕形成のリスク因子と DMSA シンチの妥当性について検討します。

【研究期間】

研究期間：病院長承認日～2021年12月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2018年4月から2020年12月に加古川中央市民病院小児科で管理を行い、DMSA シンチを施行した小児の患者さんの下記情報を取り扱います。

- 患者情報：年齢、性別
- 臨床症状：発熱、嘔吐、腹痛、血圧
- 血液・尿検査・画像検査：血清Cre、Cre-eGFR、尿中 β 2MG、尿中Cre、尿中白血球、尿培養結果、腹部エコー、VCUG、DMSAシンチ結果、
- 治療内容：投薬内容。抗菌薬治療期間
- 治療経過：有熱期間、観察期間、慢性腎臓病への移行の有無

【個人情報保護の方法】

すべての患者さんの情報は匿名化され、第3者にはその情報が誰のものかわからないようにして研究がすすめられます。研究成果の報告においても個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報につきましては本研究に関わる全ての者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管いた

します。

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありませんが本研究結果が今後の治療の向上に有用となる可能性があります。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

研究期間中、患者さんの個人情報厳重に守られるように取り扱います。すべての患者さんの情報は匿名化され、第三者にはその情報が誰のものかわからないようにして研究を進めます。研究終了後には原則として資料は廃棄いたします。

[研究成果の公表について]

本研究の成果は参加される患者さんの個人情報が明らかにならないように匿名化が厳守された上で学会発表や学術雑誌等で公に発表することがあります。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

研究への参加をお断りになることはいつでも可能です。お断りになられても、その後の診療において不利益を受けることはありません。しかし、研究への参加をお断りになった時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた時には、結果を廃棄できないことをご了承ください。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 小児科
研究責任者名：藤村 順也
連絡先：079-451-5500